

A wide-angle photograph of the Tokyo skyline at dusk. The Tokyo Tower, a prominent red and white lattice tower, stands on the left side of the frame. In the background, the snow-capped peak of Mount Fuji is visible against a soft, orange-hued sky. The city's dense urban landscape, with various high-rise buildings, fills the foreground and middle ground.

VERITAS™

NetBackup 専用クラウドストレージサービス

NetBackup Recovery Vault ご紹介

ベリタステクノロジーズ合同会社

内容

- Veritas NetBackup について
- データ保護用クラウド・ストレージ
- NetBackup Recovery Vault とは
- NetBackup Recovery Vault 考慮事項
- FAQ

Veritas NetBackup について

NetBackup

あらゆる環境に適合する
ユニファイド・データ保護
ソリューション



ユーザー

960万 以上

16x
LEADER

Gartner MQ リーダーズポジション

16回連続



保護されているデータ量

100+ EB



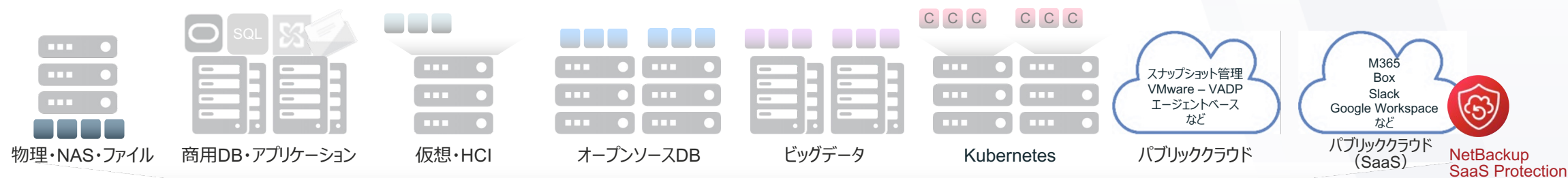
クラウド内に保管されるデータ量

700+ PB

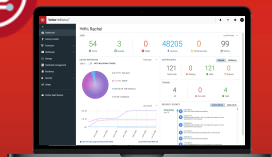
Veritas NetBackup

コア・エッジ・クラウドまでをカバーするサイバー攻撃対策として必要な要件を満たす統合データ保護

データ保護対象：800以上のデータソース、100以上のOSバージョン



- NetBackup
プライマリサーバー
- NetBackup
ITアナリティクス
- NetBackup API
- NetBackup カタログ



ソフトウェア
お客様のハードウェア

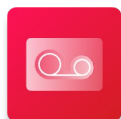
仮想アプライアンス
仮想環境専用
お客様のハードウェア

アプライアンス
ベリタス提供（物理、Flex）
コンテナベース（Flex）

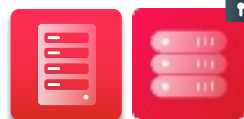
Flex Scale
認定ハードウェア
コンテナベース・スケールアウト

クラウド
AWS / Azure / GCP
マーケットプレイス（BYOL）

テープ

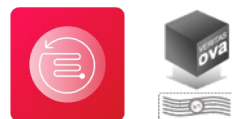


サーバー、ストレージ



3rd パーティ
ハードウェア

仮想環境



NetBackup
仮想アプライアンス

NetBackup アプライアンス



NetBackup
アプライアンス NetBackup
Flex アプライアンス

スケールアウト



NetBackup
Flex Scale 3rd パーティ
ハードウェア

クラウドストレージ



パブリック
クラウド NetBackup
Recovery Vault

データ保管先：1,400以上のストレージターゲット、60以上のクラウドサービス

= WORM/イミュータブル連携（ストレージ、パブリッククラウドは一部サポート）

データ保護用クラウド・ストレージ

NetBackup+クラウド・ストレージのユース・ケース



ランサムウェア対策

- 3-2-1ルールとしての外部・遠隔地保管
- データの不変性担保 (WORM連携*1)



クラウドへのストレージ階層化

- より低コストでデータを長期保管するためにクラウドを活用
- テープ設備と運用をリプレースし、自動化された外部・遠隔地保管



クラウド上のデータ保護

- 様々なクラウド上のデータ保護
- 異なるクラウドへの保管先



災害対策

- 自動化された外部・遠隔地保管
- 様々なリカバリオプション

パブリック・クラウド・ストレージの課題

- プロビジョニングが複雑
 - 複雑かつ多くのオプションの理解が必要
- ストレージコストが予測不能
 - 送信容量、受信容量、各種操作件数
 - リスト操作、書き込み操作、読み取り操作、削除操作
 - オブジェクト数、ページビュー数
 - 社内稟議が難しい
- リストア(データ取り出し：(エグレス))にかかるコストが懸念
 - リストアにコスト承認が必要？
- バックアップシステムと別契約
 - 契約・更新・ライセンス管理窓口が別々
 - 障害対応が別々で、解決が遅れる恐れ



NetBackup Recovery Vault とは

NetBackup Recovery Vault で解決！

ランサムウェア対策 としての保護

- 3-2-1ルールを容易に実現



データ保護のための ストレージサービス

- ストレージ設備購入や保守が不要



サポートエクスペリエンス の簡素化

- ワンストップサポートによる障害対応



運用の簡素化

- 契約・更新・ライセンス窓口一本化
- 容易なクラウド側との設定



予測可能なコスト

- 使用容量のみ課金
- 緊急リストア時に新たなコストが発生しない



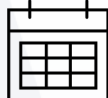
設備投資から OPEX への移行




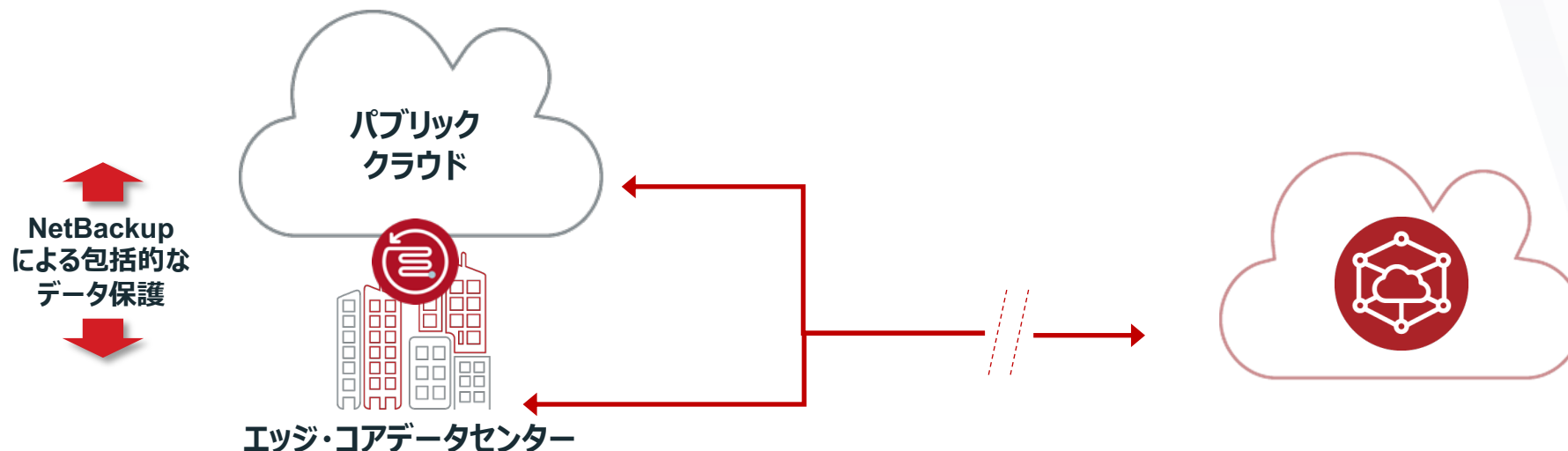
NetBackup Recovery Vault

NetBackup 専用のシームレスなクラウドストレージ・アズ・ア・サービス


(重複排除後)
保管容量
での課金


1年, 2年,
3年単位
での契約


データIO
無課金



NetBackup によるデータ保護

- NetBackupから安全にプロビジョニング
 - ロールベースアクセスによる設定
 - サブスクリプションベース
 - 消費容量のレポート
- 安全なデータ転送
- 重複排除による効率化されたデータ転送

NetBackup Recovery Vault

- ベリタスのマネージドサービス (SaaS)
- ランサムウェア対策:エア・ギャップ&WORM保護
- コンプライアンス対策や長期保管に
- 重複排除による効率的なデータ保管
- 重複排除後のデータ保存量のみで課金
- Powered by AWS and Azure

NetBackup Recovery Vault

利用開始と更新について



30日間の評価
(10TBまで)



契約
(サブスクリプション 1年、2年、または3年)



ユーザー情報
フォームの入力



NetBackup 9.0.0.1
に対応したクルデンシャルの提供



NetBackup WebUI
から設定



月次利用レポート
による利用量確認



自動更新



NetBackup Recovery Vault



ランサムウェア対策



優れた拡張性



予測可能なコスト



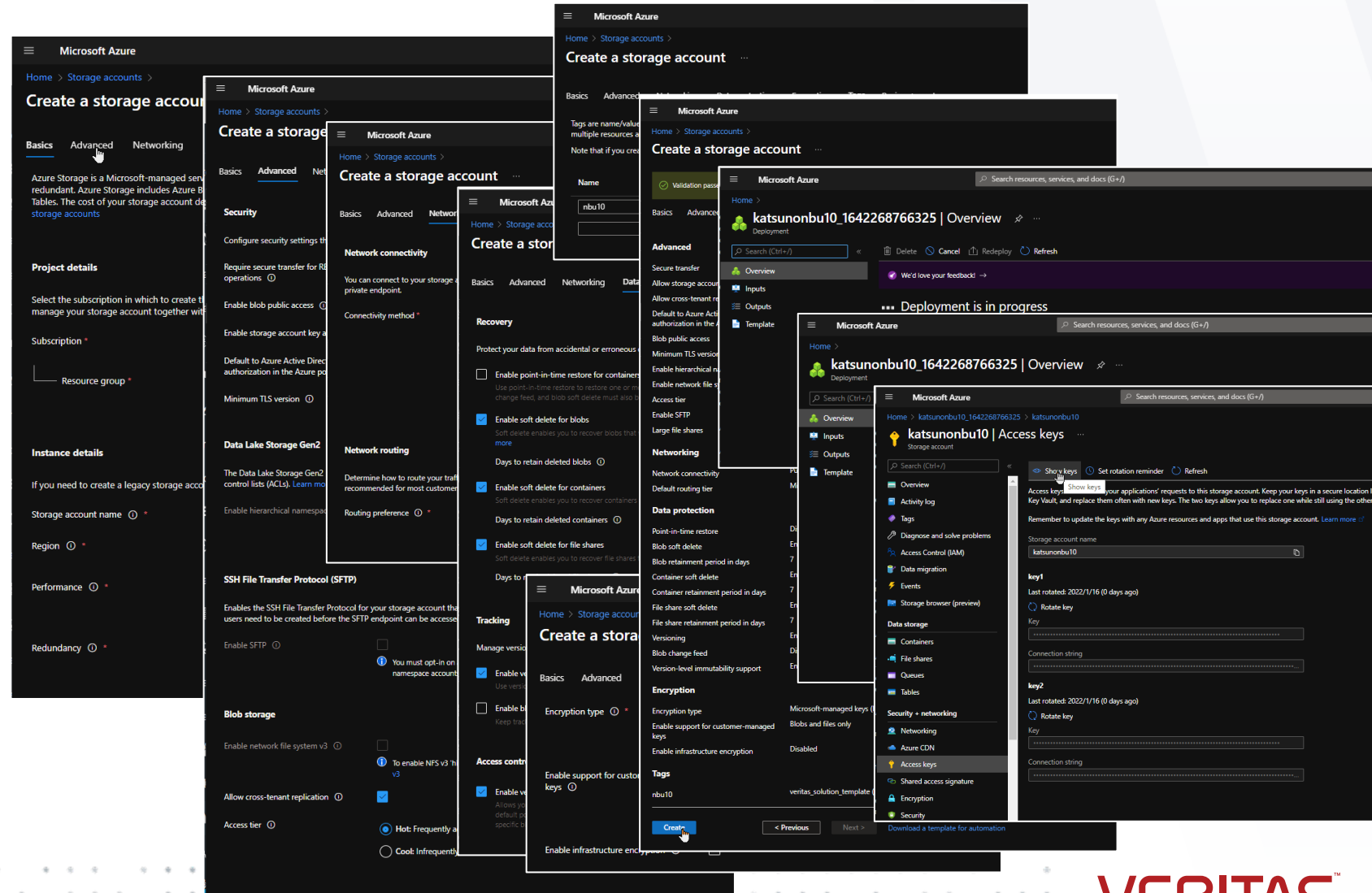
シンプルな実装



ワンストップ・サポート

一般的なクラウド・ストレージ設定

- 新規ユーザはAzureアカウントの作成と契約が必要
- バケットを作成するためのアカウント作成のために大量なオプションを理解、設定必要
- 設定ミスリスク
 - ネットワークのエラー
 - ランサムウェアのリスク増大
 - 誤った階層の選択によるコスト影響



NetBackup Recovery Vault は簡単な手続きで利用可能！

アカウント申請はこれだけ

お客様

契約タイプ、コンタクト情報、利用リージョン、について、1枚の用紙にご記入するだけ

VERITAS Provisioning Form

アカウントタイプ:	Production	Transaction Reason:	New Service
お客様会社名:	ABC		
NBU管理者 (Firstname Lastname):	Ichiro Suzuki	NBU管理者emailアドレス:	xxx@xxx.xxx
NBU管理者電話番号:	090-0000-0000	NBU管理者その他emailアドレス:	yyy@yyy.yyyy
クラウドプロバイダ:	AWS	クラウド・プロバイダ。リージョン: (ド롭ダウンから選択)	ap-northeast-1
不変ストレージ機能(WORM):	Yes		
2つ目のクラウドストレージ必要:	Yes		
2つ目のクラウドプロバイダ:	Azure	2つ目のクラウド・プロバイダ。リージョン: (ド롭ダウンから選択)	Japan West
2つ目のクラウド不変ストレージ機能(WORM):	Yes		
Veritas Account Rep Name:		Veritas Account Rep Email:	
Veritas Sales Engineer Name:		Veritas Sales Engineer Email:	
Veritas Partner Name:		Veritas Partner Email:	

The provisioning form is for information purposes only. The Service is described in detail and is provided subject to the terms and conditions in place between Veritas and Customer.

VERITAS

申請内容の確認。ストレージアカウントの作成 & 検証

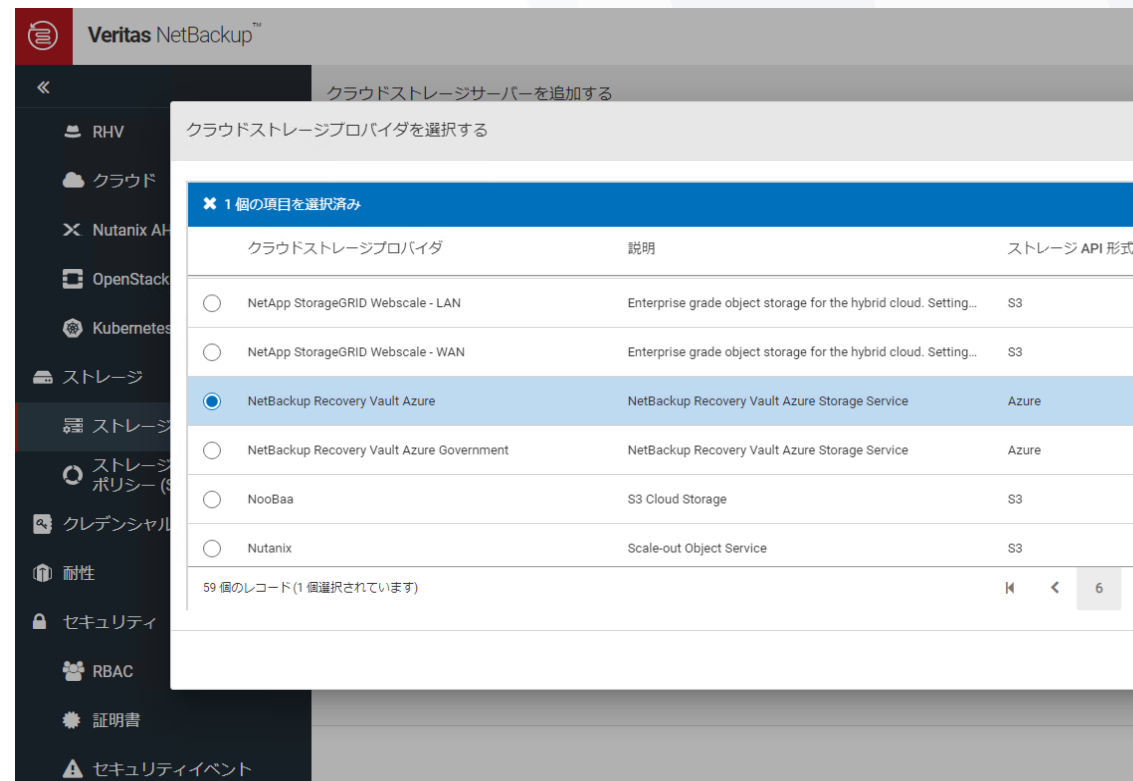
作成したアカウント情報を、NetBackup から利用できる状態でお客様に提供

NetBackup Recovery Vault 考慮事項

NetBackup Recovery Vault

構成手順

- プライマリーサーバー要件
 - NBU9.0.0.1以上
 - NBA4.0.0.1以上
 - Flex Appliance 2.1上のプライマリーサーバインスタンスv9.0.0.1以上※Immutable連携を行う場合、NBU v10.0以上が必要
- NBU v9.xは以下のサイトに従いEEBを適用します
https://isearch.veritas.com/internal-search/en_US/article.100051821.html
 - WebUIにてクラウドストレージプロバイダの選択画面にて「NetBackup Recovery Vault Azure」が選択可能になります。
- Recovery Vaultに直接バックアップする場合もMSDP-CとしてRecovery Vaultを構成する場合も、Azure Blob/AWS S3の場合と同じ手順です
 - 構成について以下参照ください。
 - [Recovery Vault for NetBackup \(veritas.com\)](https://www.veritas.com/support/888706)
 - [Microsoft Word - Recovery Vault Deployment Guide 10.docx \(veritas.com\)](https://www.veritas.com/support/888706)
 - クラウドストレージ及びMSDP-Cの構成について以下も参照ください
[NetBackup™ Web UI 管理者ガイド クラウドストレージサーバーの作成](#)
[NetBackup™ 重複排除ガイド MSDP クラウドのサポート](#)
- Recovery VaultにてクラウドストレージとMSDP-Cを構成した例のキャプチャを記録しました。
ご参考まで。
[RecoveryVaultテストキャプチャNBU9101.xlsx](#)



NetBackup Recovery Vault

技術的考慮点

- 対応プライマリーサーバー要件
 - 以下の各構成に対してRecovery Vault用EEBが提供されています
 - NBU9.0.0.1/9.1.0.1
 - NBA4.0.0.1/4.1.0.1
 - Flex Appliance 2.1上のプライマリーサーバインスタンスv9.0.0.1/9.1.0.1
 - [NBU9.0.0.1/9.1.0.1用Recovery Vault EEB情報](#)
 - NBU9.0.0.1/9.1.0.1にEEBを適用することでNBU WebUIからRecovery Vaultを構成可能
 - NBU 10.0はEEB不要でRecovery Vault構成可能
- Immutable要件
 - Azure Blob及びAWS S3のImmutable連携を行う場合、NBU v10.0以上が必要です。
 - Recovery Vaultアカウント申請フォームにて「Immutability: Yes」で申請する必要があります。
- Azure Portal用アカウントは提供されません
 - Azure Storage ExplorerやEclipseAWSExplorerにて、バケットの管理（バケット削除やバケット内データの直接参照など）が可能
- Recovery Vault上のバケットへのパブリックアクセスは不可です
 - Storage AccountのクレデンシャルでAPIアクセスのみ可能
- Recovery Vaultはストレージネットワークオプションとして専用線やVPNはメニューになく、インターネット経由のみ
- NetBackupからRecovery Vaultを使用する場合の上記以外の注意事項及び制限事項については、基本的にNetBackupからAzure BlobまたはAWS S3を使用する場合と同じです。

FAQ

FAQ: よくある質問

- **Recovery Vaultのバックアップデータを使ってDR可能ですか？**

- 被災後オンプレミスのNBUを再構築し、Recovery Vault上のカタログをインポートすればリストア可能になります。レプリケーションからのDRより復旧時間を要しますが、低コストのDRが可能です。

- **Recovery Vault上のVMwareバックアップデータをクラウドインスタンスに変換可能ですか？**

- Azure Blob版Recovery Vaultの場合、Azure VHDに変換し、Azure VMインスタンスとして復旧可能ですが、AWS EC2インスタンスとしての復旧はできません。
- AWS S3版Recovery Vaultの場合、AWS AMIに変換し、EC2インスタンスとして復旧可能ですが、Azure VMインスタンスとしての復旧はできません。

- **BETBサブスクリプションを契約後追加コストは発生しますか？**

- 保存容量が増えない限りコストは発生しません。
- 読み出しにもコストがかからないため、緊急時にもコストを気にせずすぐにリストア開始できます。

- **使用容量購入済みのBETBを超えた場合データの保存はできなくなりますか？**

- ベリタスは常にデータの保護が可能な状態を最優先しますので、契約容量を超えた場合もサービスを即座に停止することなくデータの保存は可能にしています。
- 但し、ベリタスは超過分について新たに請求書を発行します。
- 正当な理由なく超過分の請求に応じていただけない場合サービスを停止させていただきます。
- 使用量は1ヶ月間の中で達した最大の使用容量が測定されます

FAQ: よくある質問

- **本当にコストの予測が可能ですか？**

- コストは保存容量のみにかかりますので、保存容量が予測できればコストが予測できます。保存容量は保存対象容量、保存期間、重複排除率（想定）から予測が可能です。
- 重複排除率はオンプレの重複排除プールやNetBackup Applianceの多くの実績から予測値を提供可能です。

- **Recovery Vaultが動作しているクラウドプロバイダーは？**

- 現在Azure BlobとAWS S3を利用してサービス提供をしています。今後GCPの対応を予定しており、対応後は選択可能になります。
必要なお客様は別々のプロバイダ上のRecovery Vaultを1つのNetBackupに接続することが可能です。

- **海外のリージョンにデータを置きたくないのですが日本国内に置けますか？**

- Azure版の場合、Japan East(東京、埼玉)、Japan West(大阪)の2リージョンが選択可能です。
- AWS版の場合、ap-northeast-1(東京)、ap-northeast-2(大阪)の2リージョンが選択可能です。
- 海外のリージョンを選択することも可能で、対応リージョンはクラウドプロバイダ対応リージョンに準拠します。ただし中国リージョンは対応しておりません。

- **バケットのメンテナンスをしたいのですが、AzureやAWS portalにログインできますか？**

- Portalへのログインアカウントは提供していませんのでログインいただけません。お客様はRecovery Vaultが動作しているクラウドPortalにログインせずにRecovery Vaultをご利用するのが利点でもあります。
 - Azure版をご利用いただく場合はAzure Storage Explorerでバケットのメンテナンス（バケット削除やバケット内データの直接参照など）が可能です。Windows, macOS, Linux版が用意されていますので、ダウンロードしてご利用ください。詳細は以下URL参照ください。
<https://azure.microsoft.com/ja-jp/features/storage-explorer/>
 - AWS版をご利用いただく場合は、EclipseAWSExplorerがご利用いただけます。
https://docs.aws.amazon.com/ja_jp/toolkit-for-visual-studio/latest/user-guide/tkv-s3.html

FAQ: よくある質問

- **支払いは日本円で可能ですか？**
 - その他のVeritas製品同様、日本円の価格表が存在し、日本円でのお支払いが可能です。
- **Recovery VaultのIOパフォーマンスはAzure BlobやAWS S3と同じ？**
 - 実際のAzure Blob、AWS S3でサービスを提供しておりますので、ストレージパフォーマンスはBlobやS3と同じ（そのもの）です。
- **Recovery VaultからのInstant Accessはサポートされますか？**
 - 現在はまだサポートされていません。次のメジャーリリースにてサポート計画中です。
- **Recovery Vaultのアカウントとパスワードを入手した後、どのように構成すればよいですか？**
 - Recovery Vaultに直接バックアップする構成か、MSDPクラウド(MSDP上の論理重複排除ストレージ) として構成することができます。
 - 構成手順はAzure BlobやAWS S3の場合と同じで、クラウドストレージプロバイダとして「NetBackup Recovery Vault Azure」または「NetBackup Recovery Vault AWS」を選択します。
[NetBackup™ Web UI 管理者ガイド クラウドストレージサーバーの作成](#)参照
[NetBackup™ 重複排除ガイド MSDP クラウドのサポート](#)参照
- **WORM連携可能ですか？**
 - NetBackupv10.0以降にてAzure Blob版、AWS S3版ともにサポートされています。

A nighttime cityscape with a network overlay of blue lines and dots. The city features various buildings, including a prominent one with a spire on the left, and a body of water in the background. The sky is a mix of blue and orange from the sunset or sunrise.

VERITAS™

ありがとうございました!

ベリタステクノロジーズ合同会社

Copyright © 2022 Veritas Technologies, LLC. All rights reserved.

This document is provided for informational purposes only and is not intended as advertising. All warranties relating to the information in this document, either express or implied, are disclaimed to the maximum extent allowed by law. The information in this document is subject to change without notice.